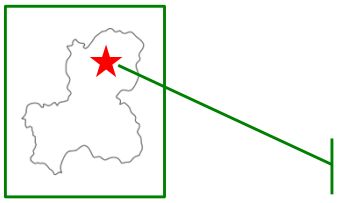
グリーンな飛騨パプリカ栽培協議会（岐阜県高山市）

R4補正 R5当初 75

背景・課題

地域ではアザミウマによる果実被害が増加しており、気温の上昇する夏季の農薬散布に係る労力負担の増加や害虫の薬剤抵抗性発達、プラスチックマルチの撤去に係る労力負担及び廃棄コストが課題となっている。



目指すグリーンな栽培体系

○ 化学農薬の使用量低減
○ 石油由来資材からの転換
（プラスチックマルチ→生分解性マルチへの転換）

構　成　員

飛騨パプリカ班、飛騨蔬菜出荷組合特産部会、岐阜県農政部農業経営課、岐阜県中山間農業研究所、岐阜県飛騨農林事務所

品　　目

パプリカ（施設）

取組の内容

生産

①化学農薬の使用量低減
：天敵導入を含む総合的な害虫管理
(化学合成殺虫剤の散布回数削減)
1　害虫侵入抑制のための防虫ネットや天敵に影響の少ない農薬を組み合わせた総合的な防除体系の検討
2　天敵の導入による化学合成殺虫剤の散布回数の削減実証

② 石油由来資材からの転換
：生分解性マルチの導入
(廃プラスチックマルチ回収作業時間の削減)

生分解性マルチを導入した栽培への転換による作物への影響及び作業の省力化等の導入効果を検証

取組時期

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

①-1 害虫侵入抑制

防虫ネットの設置

①-2 天敵の導入

天敵を放飼する生産者

②生分解性マルチへの転換

生分解性マルチの利用

普及に向けた取組

令和５年度は複数の天敵を利用し、それぞれの特性や夏秋作型における留意点について実証確認した。害虫発生状況の年次変動にも対応できるよう、関係機関及び生産者間の情報交換をより活発化するとともに、事業終了後にも取組継続できるよう、低コストかつより効果的な害虫管理方法について検討を進める。

問い合わせ先
グリーンな飛騨パプリカ栽培協議会 事務局
（岐阜県飛騨農林事務所農業普及課）
TEL：0577-33-1111(内線265)、e-mail：c24809@pref.gifu.lg.jp